

令和6年2月7日

## 福島大学資料研究所展示 「ここに根をはる 津波のあとの植物たちとその環境 福島大学ステージ」を開催

福島大学資料研究所は、令和6年1月22日（月）から2月28日（水）の予定で、本学フクニチャージ図書館1階の資料展示エリアにおいて、展示「ここに根をはる 津波のあとの植物たちとその環境 福島大学ステージ」を下記のとおり開催しています。

この展示は、海岸植物について焦点を当てたせんだい3.11メモリアル交流館の同名の企画展を、福島大学で行ってきた津波被災地での環境研究の紹介も加えながら、再現したものです。津波後の環境の変遷の様子をまとめたターポリン（展示幕）や被災地の野生植物を描いた倉科光子氏のジークレー（作家公認の限定数の精巧な複製）を中心とした展示を行い、ぬり絵コーナーも設置しています。

展示期間：令和6年1月22日（月）～2月28日（水）

ギャラリートーク：令和6年2月9日（金）12:00～12:30

メディア向け説明：定例記者会見当日12:00頃より

展示場所：福島大学フクニチャージ図書館資料展示  
エリア

主催：福島大学資料研究所

共催：津波被災地プロジェクト

協力：せんだい3.11メモリアル交流館

展示責任者：黒沢高秀



せんだい3.11メモリアル交流館での展示の様子

### 趣 旨

本展示は、せんだい3.11メモリアル交流館で令和5年3月25日から7月16日に開催された企画展「ここに根をはる 津波のあとの植物たちとその環境」の展示の一部をご提供いただき、福島大学を会場に開催するものです。せんだい3.11メモリアル交流館は、東日本大震災の記憶と経験を媒介に、コミュニケーションを通じて知恵と教訓を紡ぎ出し、未来へ、世界へとつないでいく拠点です。津波により大きな被害を受けた仙台市東部沿岸地域への玄関口として仙台市地下鉄東西線荒井駅に設置され、地域の暮らし・記憶などをさまざまな視点から伝える企画展やイベント、ワークショップの開催を通じ、震災や地域

の記憶を積極的に発信しています。

企画展「ここに根をはる」では、震災後の海岸植物について焦点を当て、福島大学教員を含む多くの研究者を取材し、そのような植物を描き続けている画家の倉科光子さんと共に、津波後の環境の変遷の様子をまとめたターポリン（展示幕）や絵画を中心とした展示を行いました。また、倉科氏と題材となった付近の浜辺を散策するバスツアーや、津波後に出現したミズアオイのタネを研究者と一緒に地層サンプルから探すワークショップなどの関連イベントを行いました。反響は大きく、テレビや新聞のマスコミに取り上げられただけでなく、芸術系の雑誌『美術手帳』2023年10月号にも評論が掲載されました。本展示は、この中でターポリンや展示された倉科氏の絵の一部のジークレー（作家公認の限定数の精巧な複製）を展示することにより、せんだい3.11メモリアル交流館の「ここに根をはる」の再現を試みたものです。また、この展示には福島大学で行ってきた津波被災地での環境研究が大きく貢献しました。その活動の紹介も本展示に少し加えました。

本展示により、津波とその後の復旧事業による被災地の環境変化について、より多くの方に関心を持っていただけるきっかけになれば幸いです。

#### 【主な展示】

- ・ 津波後の環境の変遷の様子をまとめたターポリン（展示幕）
- ・ 倉科光子氏ジークレー（作家公認の限定数の精巧な複製）  
ミズアオイ、ツツイトモ、スナビキソウなど
- ・ 福島大学貴重資料保管室標本  
倉科光子氏が描いた場所のミズアオイ、ツツイトモ、スナビキソウなど
- ・ 倉科光子氏の彩色の動画
- ・ むり絵コーナー



フクニチャージ図書館での展示の様子

（お問合せ先）

共生システム理工学類・教授 黒沢 高秀  
電話：024-548-8201

メール：kurosawa@sss.fukushima-u.ac.jp

# ここに根をはる

津波のあとの植物たちとその環境

突如として大きく変化した環境に  
それぞれ応えた植物たち

津波浸水域に芽生えた植物を描き続ける  
画家・倉科光子氏の作品とともに  
その世界を訪ねます

(38°13'51"N 140°59'42"E (新浜のハマビルガキ)) (部分/2022年~)

2024.1.22 月 - 2.28 水

フクニチャージ図書館（福島大学附属図書館）1階展示コーナー

主催・お問合せ／福島大学資料研究所  
電話：024-548-8201 メール：kurosawa@sss.fukushima-u.ac.jp

本ポスターは、せんだい3.11メモリアル交流館で行われた企画展  
の際にデザインされたポスターを許可を得て一部改変したものです

福島大学  
資料研究所  
ホームページ



メモリアル交流館  
ホームページ  
携帯電話のご利用マナーにご注意  
ください

パネル監修／平吹喜彦（東北学院大学）  
制作／TURNAROUND

津波被災地プロジェクト（JSPS 科研費 18H04146, 23H00528）  
福島大学学術振興基金個人研究助成（H26, 27, 28, 29 年度）

